

明治維新から高田村成立まで

年号	元号	時事	内容	日本	大分	高田の変遷
1868年	明治元年	明治維新	これまでの藩を府や県に変えただけでした	3府302県	森県、岡県、臼杵県、佐伯県、府内県、杵築県、日出県及び熊本県の飛び地	亀甲村・上徳丸村・大鶴村・鵜瀬河瀬村・下徳丸村・南村・常行村・関門村・堂園村 (9村)
1871年	明治4年	廃藩置県	302県を統廃合	3府72県	大分県+小倉県(1872年)	
			詔勅が届く(7月14日)			熊本県に属し、県知事は細川護久
			郡県の制(11月22日)			大分県に属する
	明治6年	大区小区制	高田は第3大区(大分郡)第11小区に指定		(今の大分市)大分郡大分町 (今の鶴崎)大分郡鶴崎町	高田の各村は 大分郡 に属するようになる。
1875年	明治8年	町村の合併				丸亀村(亀甲村・上徳丸村) 鶴瀬村(大鶴村・鵜瀬河瀬村) 下徳丸村・南村・常行村 関園村(関門村・堂園村)の 6村に合併
1876年	明治9年				大分県と小倉県の下毛、宇佐郡が併合され現在の大分県へ	
1887年	明治21年	市制町村制		3府42県	大分県(下毛郡宇佐郡が編入)	
1888年	明治22年		3月2日			高田村 が成立